

HiAGE

トロウエル 取扱説明書

HG-WH-SUB60

HG-WH-S100



はじめに





このたびはトロウェルをお買いあげいただき誠にありがとうございます。安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

安全上のご注意

※お使いになる人や他の人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

※誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を次の区分で説明しています。

- 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。
- すべて安全に関する内容です、必ずお守りください。

 警告 誤った取扱をしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。	 注意 誤った取扱をしたときに、軽傷または家屋・財産などの損害に結びつくもの。	 取扱においてその行為を禁止します。  指示に基づく行為を強制します。
--	--	--

製品を長くご愛顧いただくために

取扱説明書に従った正しい取扱や定期点検、保守を行ってください。
注意事項に従わず何らかの損害・故障が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。

もくじ

はじめに	2
もくじ	3
安全にお使いいただくために	4
安全ラベル	8
主要諸元	10
各部の名称	11
組立	12
運転前の点検	28
運転操作のしかた	31
点検整備のしかた	38
長期間使用しないとき	44
故障と思ったら	45
お客様ご相談窓口	46

安全にお使いいただくために

トロウエルに係る安全事項



警告



- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- ・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ・回転している部分の近くに手又は足を入れしないでください。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。
- ・改造、分解は絶対行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。また、当社の保証サービスは一切受けられなくなります。
- ・指定された用途以外には使用しないでください。
- ・正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。
- ・未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業してください。
- ・操作のしかたがよく分からない成年者も単独の使用はご遠慮ください。



- ・ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよくご理解の上ご使用ください。
- ・運転中は、排気ガスに十分注意してください。
- ・燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行って下さい。
- ・燃料をこぼさないように注意してください。所定のレベルを超えて補給しないでください。
- ・燃料がこぼれた場合は、直ちにふき取ってください。
- ・燃料キャップは確実に締めてください。
- ・エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。
- ・始動前点検を実施してください。
- ・製品を搬送の際、積み込み、積み下ろしは二人で行ってください。

安全にお使いいただくために

トロウエルに係る安全事項



警告



- ・本製品は、誤った取扱を行うと、使用者や近くにいる人が重傷に結びつくことがあります。
- ・マニュアルに記載されている警告や操作手順が不明な場合は、操作しないでください。
- ・点検整備作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめて下さい。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願い致します。



- ・このマニュアルの中の警告と安全手順を必ず守ってください。
- ・部品交換は、純正部品を使用してください。
- ・破損した部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になることがあります。
- ・点検整備をするときは、必ずエンジンを停止してから行ってください。
- ・点検整備後は、すべての部品を確実に取り付けたことを確認してください。
- ・整備・点検するときは、エンジンを停止し、エンジンが冷えてから、スパークプラグキャップを外してください。

安全にお使いいただくために

トロウエルの作業に係る安全事項



注意



- ・未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業してください。
- ・装置をご使用になる前に、エンジンの始動、停止のしかたを覚えてください。



- ・この説明書は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- ・定期点検整備を行ってください。
- ・可動部分の位置および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他動作に影響を及ぼす全ての箇所に変常がないか確認してください。
- ・燃料は無鉛ガソリンを使って下さい。

トロウエルの作業に係る安全事項



警告



- ・身体の調子が悪いとき、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。
- ・夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。
- ・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ・回転部分に顔や手足、髪の毛、衣服などを近づけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- ・使用中は、点火プラグキャップ部や高圧コードに触れないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。

安全にお使いいただくために



警告



- ・回転している部分の近くに手又は足を入れしないでください。
 - ・エンジン回転中は、ハンドルの高さ調節をしないでください。
 - ・エンジンが熱いうちは、可燃物を近づけないでください。
- ・回転部分のカバーを外して運転しないでください。



- ・使用前にブレードに損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・各部のネジに緩みが無いことを点検してください。
- ・始動前点検を実施してください。始動前点検で異常が見つかった場合は、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
- ・使用前に部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいらないことを確認してください。
 - ・すべりにくい靴、手袋、保護メガネ、保護帽、耳栓などの作業に適した服装を心掛けてください。
 - ・使用者は、使用者自身や周囲の人、動物に対する危険事項を理解し、十分注意してください。
 - ・運転中は、排気ガスに十分注意してください。
 - ・ハンドルをしっかり握り、正しい姿勢で作業してください。
 - ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。
 - ・使用中に異常音、異常振動があったときは、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
 - ・異物に突き当たったり、巻きついた場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、製品が損傷していないかを調べてください。損傷があった場合には、完全に補修した後でなければ製品を再始動しないでください。
 - ・危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。
 - ・装置から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。
 - ・製品を搬送する際、積み込み、積み下ろしは二人で行ってください。

安全ラベル

- ・使用前にマニュアルを読んでください。
- ・排気ガスには有害な成分が含まれています、十分な間を取ってください。
- ・ガソリンは、引火しやすく、爆発の危険があります。・給油は、エンジンを止め、冷えてから行ってください。火気を近づけないでください。
- ・エンジンやマフラーなどが熱くなっています。十分な間を取ってください。

ギヤオイルの点検をしてください。



- ・使用前にマニュアルを読んでください。
- ・動作中に、Vベルトや回転部に顔や手足を近づけないでください。
- ・排気ガスには有害な成分が含まれています。・火気を近づけないでください。
- ・エンジンやマフラーなどが熱くなっています。

HG-WH-SUB60

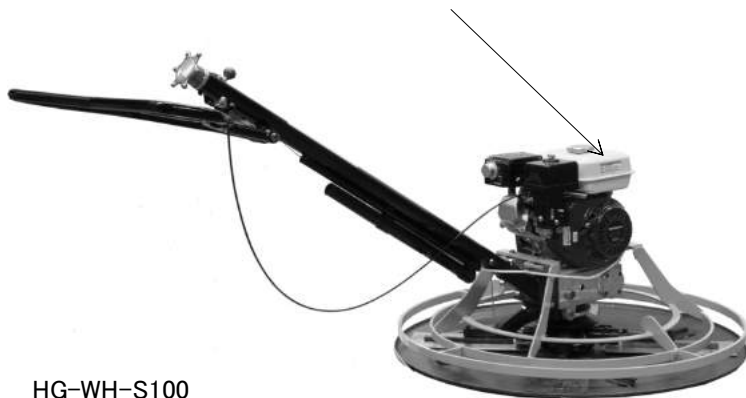
安全ラベル



HG-WH-S100

- ・使用前にマニュアルを読んでください。
- ・正しい操作を知らない人には操作をさせないでください。
- ・メンテナンスや駆動部品に触る前に、エンジンを止め、点火プラグを外してください。
- ・装置から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。燃料やオイルを補給するときは、エンジンを停止し、十分冷えてから行ってください。

- ・使用前にマニュアルを読んでください。
- ・排気ガスには有害な成分が含まれています、十分な間を取ってください。
- ・ガソリンは、引火しやすく、爆発の危険があります。
- ・給油は、エンジンを止め、冷えてから行ってください。火気を近づけないでください。



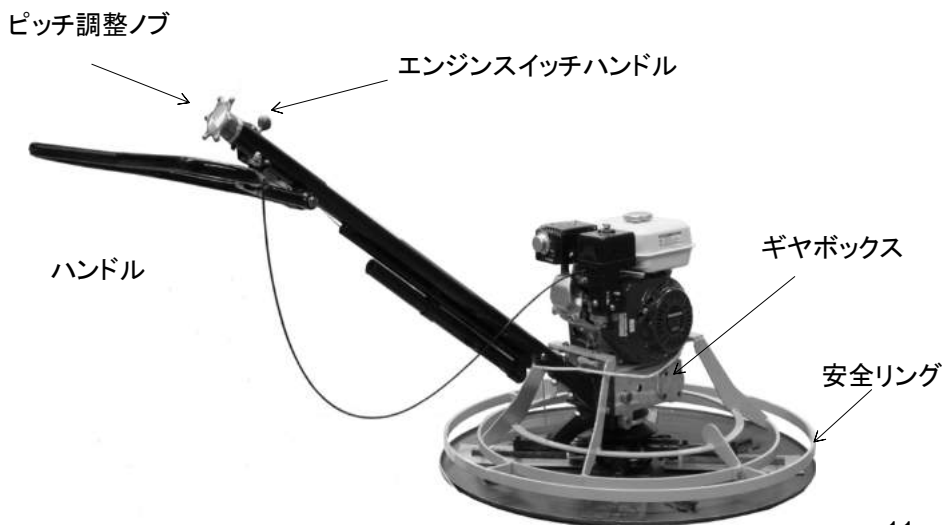
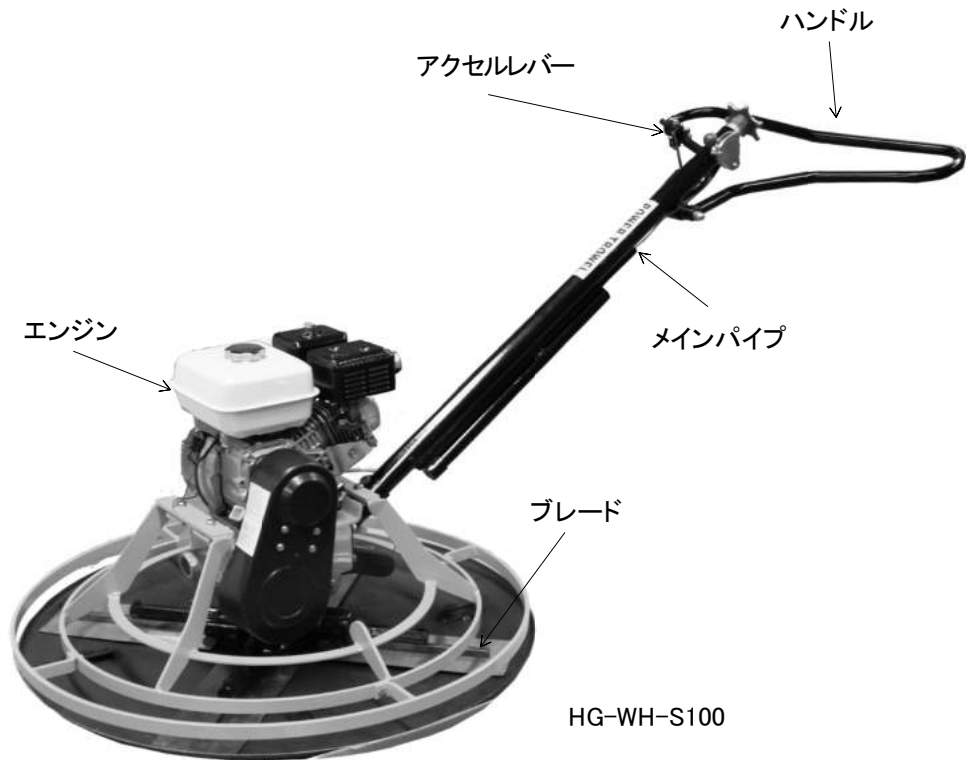
HG-WH-S100

主要諸元

	HG-WH-SUB60	HG-WH-S100
エンジン	SUBARUロビンエンジン	Honda GX160
ブレード直径 (cm)	58	96
ブレードガード直径 (cm)	60	100
速度範囲 (1/min)	50-100	60-100
本体重量 (kg)	47	98
梱包重量 (kg)	53	103
サイズ(L*W*H)(cm)	60*60*60	100*100*36

この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

各部の名称



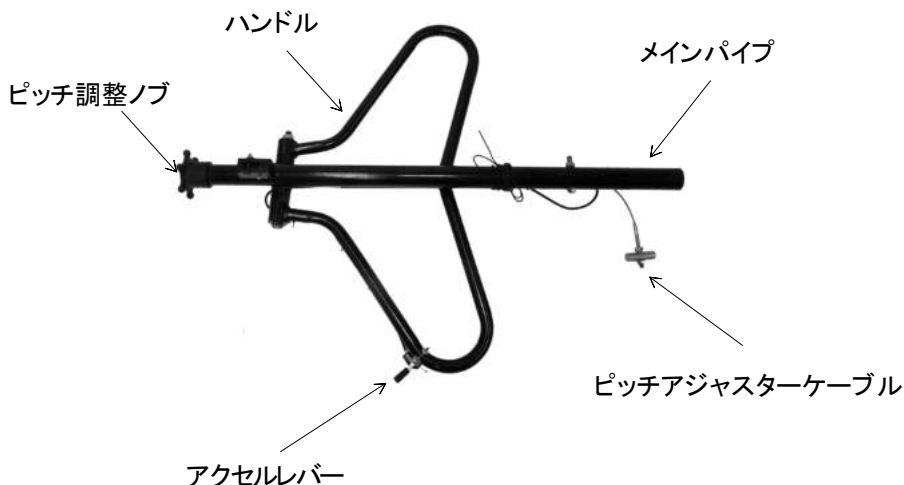
組立

●梱包部品一覧表

念のため、各パーツが不足していないかのご確認をお願いいたします。
不足している場合は、お手数ですがハイガー産業株式会社までご連絡ください。

◆HG-WH-SUB60の部品

ハンドルAssy



注意

- ・説明書をよく読んで正しく取り付けてください。
- ・作業には工具を使用します。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行って下さい。

組立

◆HG-WH-S100の部品

メインパイプ



エンジンスイッチハンドル

ハンドル



パイプブラケット



ピッチ調整ノブ



アクセルレバーAssy



組立

HG-WH-SUB60の組立

●メインパイプの取付け

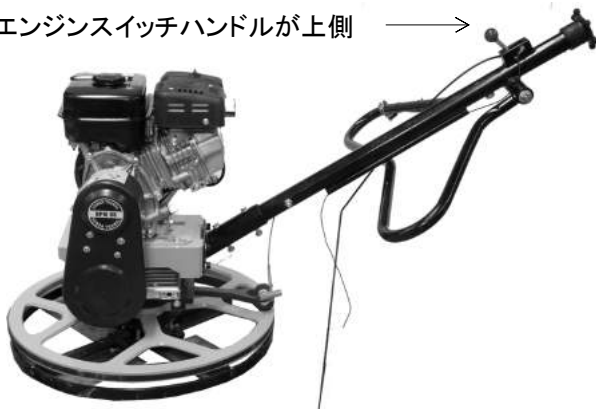
パイプブラケットに、ハンドルAssyを、エンジンスイッチハンドルが上側になるように取り付けます。

■組立手順

- 1.スパナ 14mm 17mm
- 2.ハンドルAssyを準備します。
- 3.パイプブラケットに仮止めしている取付けボルト、ナットを外します。
- 4.メインパイプにある、エンジンスイッチハンドルが上側に来るように回転させ、パイプブラケットの取付け口に差し込みます。
- 5.メインパイプにある取付け穴と、パイプブラケットにある取付け穴を合わせます。
- 6.2本のボルトを穴に通し、反対側からナットを締めます。締める際、ボルトが回転しないように、ボルトをスパナで押さえながら、ナットをしっかり締めます。



エンジンスイッチハンドルが上側 →



組立

●ハンドルの調整

ハンドルの高さ調整を行います。

■組立手順

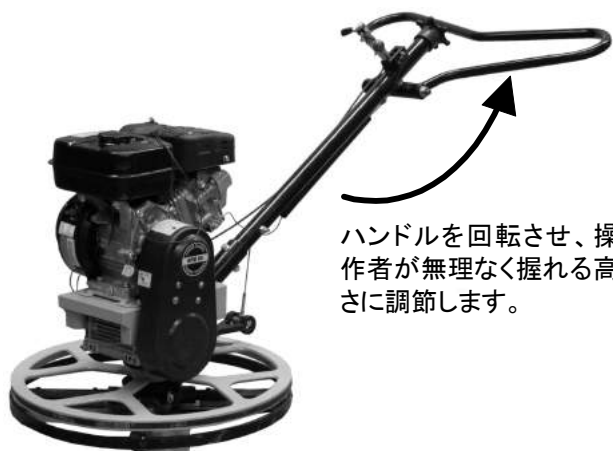
- 1.スパナ 22mm
 - 2.ハンドル調整ボルトを緩めます。
 - 3.ハンドルを回転させ、操作者が無理なく握れる高さに調節します。
 - 4.ハンドル調整ボルトを締めます。締める際、ボルトが回転しないように、ボルトをスパナで押さえながら、ナットをしっかり締めます。
- 本体操作を行う時に、再度ハンドル高さ調整を行ってください。

ハンドルAssy



ハンドル調整ボルトを緩めます

締める際、ボルトが回転しないように、ボルトをスパナで押さえながら、ナットをしっかり締めます。



ハンドルを回転させ、操作者が無理なく握れる高さに調節します。

組立

●ピッチアジャスターケーブルの取付け

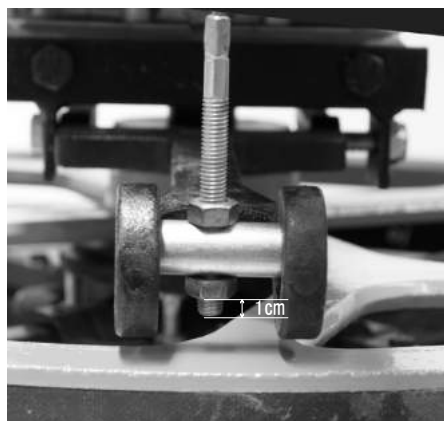
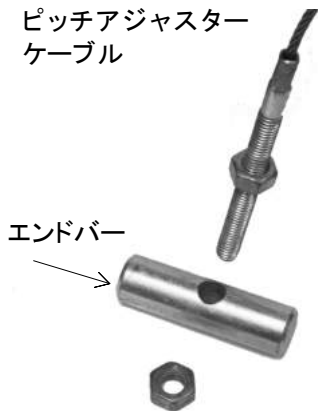
ピッチアジャスターケーブルを接続します。

■組立手順

- 1.スパナ 14mm
- 2.ピッチアジャスターケーブルの終端に、上下側をナットで固定した、エンドバーがついています。
- 3.エンドバーの下側にあるナットを外しエンドバーを取り去ります。
- 4.エンドバーをピッチアジャスターに通します。
- 5.ピッチアジャスターケーブルをエンドバーに通し、ナットを締めたときに、ナット下から端までが1cmになるように、エンドバーの上下側のナットを調整し、しっかり締めます。

ピッチアジャスター
ケーブル

エンドバー



組立

●アクセルワイヤの取付け

エンジンのアクセルを低速状態にし、アクセルレバーとエンジンをアクセルワイヤで接続します。

■組立手順

1. プラスドライバー
2. アクセルワイヤを軽く引張り、緩みをなくします。アクセルレバーのワイヤ巻き取り部分にワイヤ末端が緩みなく収まるようにしてください
3. アクセルレバーを低速位置に合わせます。
3. エンジンのエアフィルタの上部蝶ネジを外して、カバーを取り外します。
4. エンジンにある、2か所のワイヤ取付けネジを緩めます。緩めすぎると、脱落してしまうので緩めすぎに注意してください。

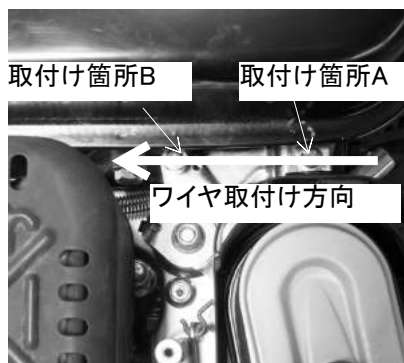


上部蝶ネジを外してカバーを取り外す



組立

5. エンジンアクセルを低速位置に合わせます。
6. アクセルワイヤを取付け箇所A、取付け箇所Bの順番に通します。
7. アクセルワイヤの外皮末端が、取付け箇所Aの位置になるように合わせ、取付け箇所Aのネジを締めます。
8. アクセルワイヤのワイヤ部分を取付け箇所Bに通し、ネジを締めます。
9. アクセルレバーを動かして、連動してエンジンアクセルが動くことを確認してください。



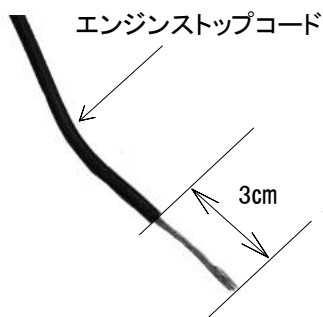
組立

●停止スイッチの配線

エンジンストップコードを配線します。

■組立手順

1. ニッパー、ビニールテープ
2. エンジンストップコードの先端を3cm被覆を剥きます。
3. エンジンコードのキャップのみを少しずらします。
4. エンジンコードのコネクタ部分に、エンジンストップコードをしっかりと巻きつけます。
5. エンジンコードのキャップをかぶせます。
6. エンジンストップコードが抜け落ちないよう、またコネクタ部に水が入らないように、ビニールテープでしっかり固定、保護します。



組立

HG-WH-S100 の組立

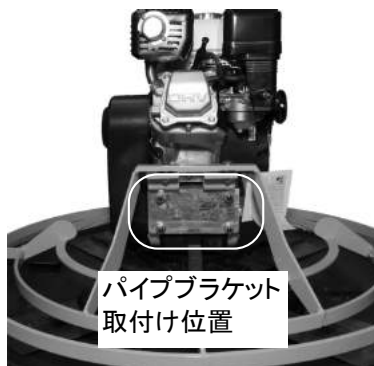
●パイプブラケットの取付け

パイプブラケットを本体に取り付けます。

■組立手順

1. 17mmスパナ
2. 本体に仮止めされているナット、ワッシャを取り外します。
3. パイプブラケット取付け口が上を向くように、本体の取付けボルトにパイプブラケットの取付け穴を合わせます。
4. 取付けボルトにワッシャを通し、4か所均等に締めていきます。

パイプブラケット



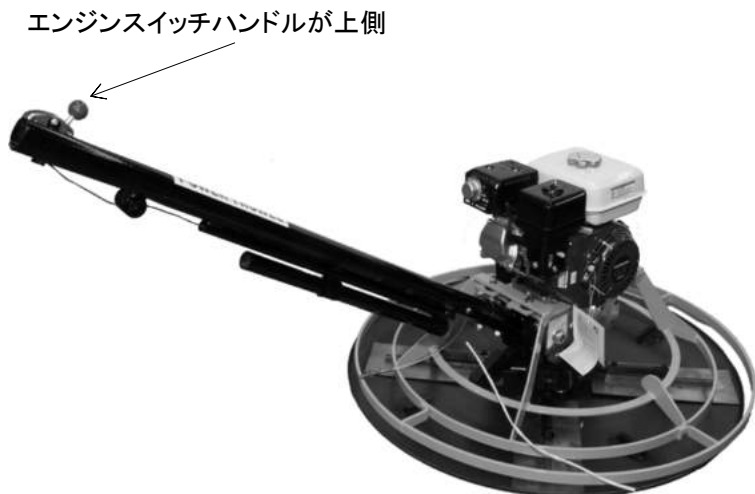
組立

●メインパイプの取付け

パイプブラケットに、メインパイプを、エンジンスイッチハンドルが上側になるように取り付けます。

■組立手順

- 1.スパナ 17mm
- 2.ハンドルAssyを準備します。
- 3.パイプブラケットに仮止めしている取付けボルト、ナットを外します。
- 4.メインパイプにある、エンジンスイッチハンドルが上側に来るように回転させ、パイプブラケットの取付け口に差し込みます。
- 5.メインパイプにある取付け穴と、パイプブラケットにある取付け穴を合わせます。
- 6.2本のボルトを穴に通し、反対側からナットを締めます。締める際、ボルトが回転しないように、ボルトをスパナで押さえながら、ナットをしっかり締めます。



組立

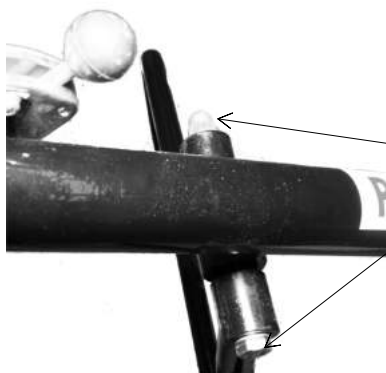
●ハンドルの調整

ハンドルをメインパイプに取り付け、高さ調整を行います。

■組立手順

1.スパナ

- 1.ハンドルに仮止めしている取付けボルト、ワッシャ、ナットを外します。
 - 2.メインパイプのハンドルブラケットにハンドル取付け部を合わせます。
 - 3.ハンドルを回転させ、操作者が無理なく握れる高さに調節します。
 - 4.ハンドル取付けボルトを締めます。締める際、ボルトが回転しないように、ボルトをスパナで押さえながら、ナットをしっかり締めます。
- 本体操作を行う時に、再度ハンドル高さ調整を行ってください。



締める際、ボルトが回転しないように、ボルトをスパナで押さえながら、ナットをしっかり締めます。

高さ調整



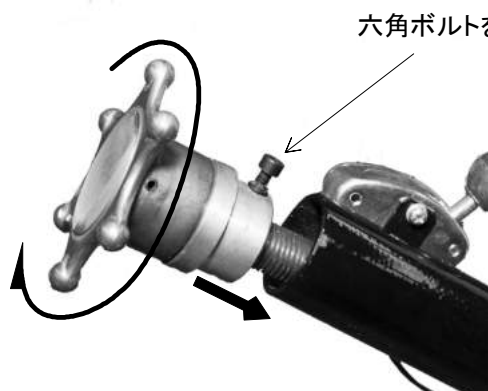
組立

●ピッチ調整ノブの取付け

ピッチ調整ノブをメインパイプに取り付けます。

■組立手順

- 1.ピッチ調整ノブについている六角ボルトを取り外します。
- 2.ピッチ調整ノブをメインパイプに差し込み、時計回り(右回り)に回し、ねじ込んでいきます。
- 3.ブラケット部がメインパイプの端に収まるまで、ねじ込みます。
- 4.メインパイプの取付け穴と、ピッチ調整ノブの取付け穴の位置を合わせます。
- 5.六角ボルトを穴に通し、しっかり締めます。



ブラケット部が収まるまで
ねじ込む。

-
- The image shows the pitch adjustment knob being inserted into the main pipe. A straight arrow points to the bracket part of the knob, with the text 'ブラケット部が収まるまでねじ込む。' (Screw in until the bracket part fits) to its right. Below the image, a list of instructions is provided: '・取付け穴を合わせる。' (Align the mounting hole) and '・六角ボルトを穴に通し、しっかり締める。' (Insert the hex bolt into the hole and tighten it).
- ・取付け穴を合わせる。
 - ・六角ボルトを穴に通し、しっかり締める。

組立

●ピッチアジャスターケーブルの取付け

ピッチアジャスターケーブルを接続します。

■組立手順

- 1.スパナ 17mm
- 2.ピッチアジャスターケーブルの終端がネジになっていて、ナットが予め取り付けられています。
- 3.ナットを外します。
- 3.ケーブルの終端ネジ部をピッチアジャスターの下から取付け穴に通します。
- 4.ネジ部にナットを通し、しっかり締めます。



組立

●アクセルワイヤの取付け

アクセルレバーとエンジンをアクセルワイヤで接続します。

■組立手順

1. プラスドライバー
2. アクセルレバーのクランプナットを外します。
3. ハンドル上でレバー操作がしやすい場所に、アクセルレバーを置き、クランプでハンドルを挟んで、2個のナットでしっかり固定します。
4. アクセルワイヤを軽く引張り、緩みをなくします。
5. アクセルレバーを低速位置に合わせます。
6. エンジンのエアフィルタの上部蝶ネジを外して、カバーを取り外します。



レバー操作がしやすい場所に、クランプで挟んで固定します



組立

- 7.エンジンにある、2か所のワイヤ取付けネジを緩めます。 緩めすぎると、脱落してしまうので緩めすぎに注意してください。
- 8.アクセルワイヤを取付け箇所Aに通します。
- 9.アクセルワイヤを取付け箇所Aに通した後、スプリングをアクセルワイヤに通します。
- 10.アクセルワイヤを取付け箇所Bに通します。
- 11.クセルワイヤの外皮末端が、取付け箇所Aの位置になるように合わせ、取付け箇所Aのネジを締めます。
- 12.取付け箇所Bのネジを締めます。
- 13.アクセルレバーを動かし、連動してエンジンアクセルが動くことを確認してください。

2か所のワイヤ取付けネジを緩める。緩めすぎると、脱落してしまうので緩めすぎに注意



スプリングをアクセルワイヤに通す



取付け箇所B

取付け箇所A

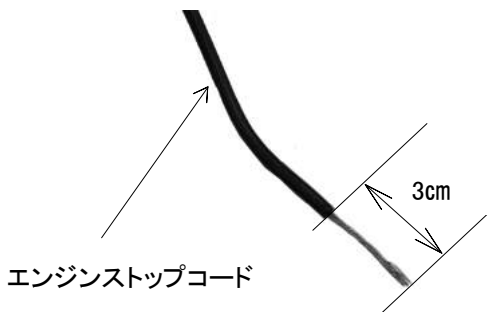
組立

●停止スイッチの配線

エンジンストップコードを配線します。

■組立手順

1. ニッパー、ビニールテープ
2. エンジンストップコードの先端を3cm被覆を剥きます。
3. エンジンコードのキャップのみを少しずらします。
4. エンジンコードのコネクタ部分に、エンジンストップコードをしっかり巻きつけます。
5. エンジンコードのキャップをかぶせます。
6. エンジンストップコードが抜け落ちないよう、またコネクタ部に水が入らないように、ビニールテープでしっかり固定、保護します。



キャップをかぶせ、ビニールテープをしっかりと巻いてコードを固定、水がはまらないようにする



運転前の点検

●燃料の点検・補充



警告



- ・エンジンが熱いうちは、燃料を給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。



- ・燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、換気の良い場所で行って下さい。
- ・燃料をこぼさないように注意してください。 所定のレベルを超えて補給しないでください。
- ・燃料がこぼれた場合は、直ちにふき取ってください。
- ・燃料は、無鉛レギュラーガソリンを使用してください。
- ・燃料タンクキャップは確実に締めてください
- ・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。
- ・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。

燃料(無鉛ガソリン)の量を点検します。

■点検手順

- 1.燃料タンクキャップを外し、液面を見て残量を確認します。
- 2.少ないときは上限の位置まで補給してください。

使用燃料 自動車用無鉛ガソリン (レギュラーガソリン)

補給後、燃料タンクキャップを確実に閉めてください。

燃料タンクキャップ



運転前の点検

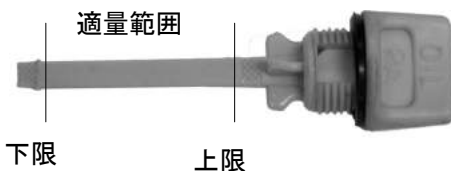
●エンジンオイルの点検

エンジンオイルの量、よごれを確認します。

■点検手順

- 1.製品を水平な場所に移動させます。
- 2.オイル給油キャップを外します。
- 3.オイルゲージのオイル適量範囲にあるか点検してください。
- 4.オイル量が少ないときは、新しいオイルを、上限位置を超えないように、補給してください。
- 5.オイル給油キャップを締めます。

推奨オイル SAE 10W-30
オイル容量 0.6L



⚠ 注意

エンジンオイルの量は適切な値に保ってください。エンジンの故障の原因になります。上限を超えるとエンジンがかからなくなります。少ないと、エンジンの焼き付けを起こします。

●各部の締付け

ボルト・ナットにゆるみがないことを確認してください。

●レバーの動作確認

レバーがスムーズに動作し、適度な遊びがあることを確認してください。

運転前の点検

●エアークリーナーの点検

エアークリーナーの汚れを点検します。

■点検手順

1. エアークリーナーカバーの蝶ナットを外し、カバーを外します。
2. 赤い取付けナットを取り外し、フィルタを外し、フィルタの内側から圧縮空気を吹きつけて汚れを落とします。



HG-WH-SUB60



HG-WH-S100

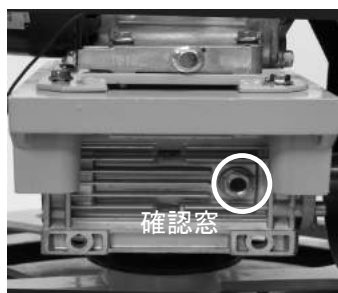
●ギヤーボックスオイル

ギヤーボックスオイルの量を確認し、不足の場合は、補給します。

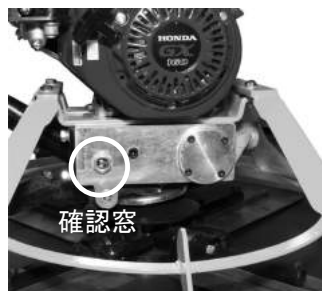
■点検の手順

1. ギヤーボックスにあるオイル確認窓を覗きます。確認窓からオイル液面が見えない場合は、オイル量が不足しています。ギヤーオイルを補充してください。

ギヤ用オイル SAE 140



HG-WH-SUB60



HG-WH-S100

運転操作のしかた

警告



- ・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので高温部に触れないでください。
- ・回転している部分の近くに手又は足を入れないでください。



- ・運転中は必ず両手でしっかりハンドルを握ってください。
- ・エンジン始動後、異常を感じたり、予測される場合はすぐにエンジンを停止してください。
- ・装置から離れるときは必ずエンジンを停止してください。

注意

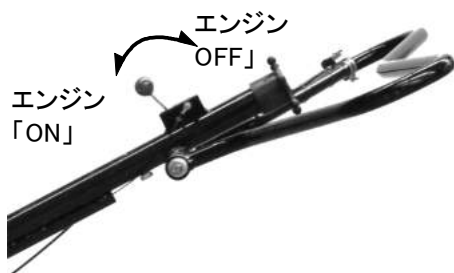
- ・エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。必ず両手でしっかり本体を保持してください。

運転操作のしかた

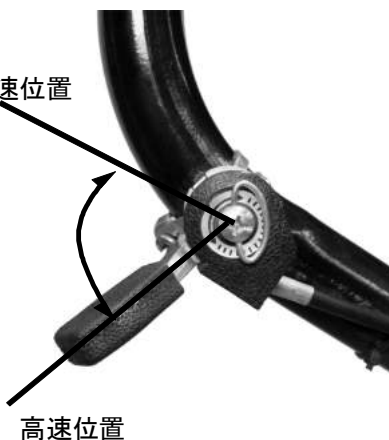
●エンジンのかけ方

1. エンジンスイッチハンドルを「ON」にします。
2. ハンドルにあるアクセルレバーを低速位置から少し上げた位置に合わせます。
3. エンジンにあるエンジンスイッチを「ON」にします。

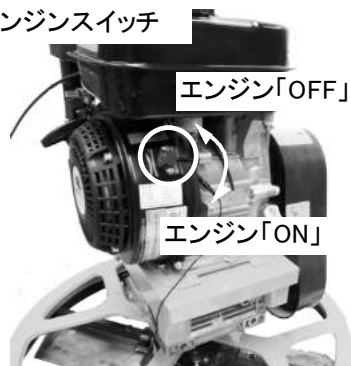
エンジンスイッチハンドル



低速位置



エンジンスイッチ



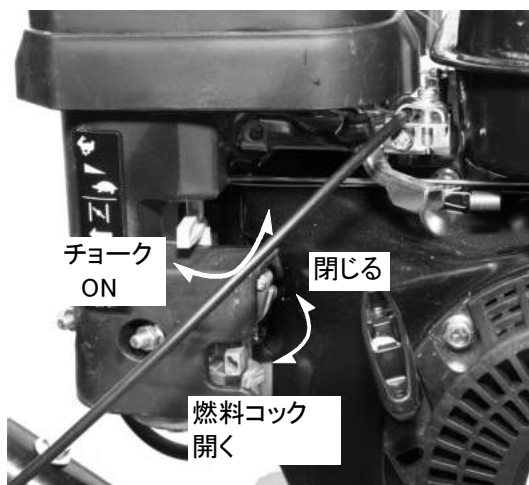
運転操作のしかた

4. エンジンが冷えている時は、チョークレバーを「チョーク」の位置(左側)に合わせます。(エンジンが熱い場合は、チョークを戻した位置に倒します。)
5. 燃料コックを開きます。
6. リコイルハンドルを少し重くなるまでゆっくり引き、そこから勢いよく真っすぐ引張ります。エンジンがかかるまで、数回繰り返します。ロープを最後まで引張らないでください。引いたリコイルハンドルを途中で放さないで、ゆっくり戻してください。
7. 初爆(ボンボンという爆発音)があり、そのままエンジンがかかればチョークレバーを戻します。

▼爆発音のみで始動しない場合、すぐ止まってしまう場合は、チョークレバーを戻して、リコイルハンドルを引きます。

▼チョークレバーを引いた状態で、リコイルハンドルを引き続けると燃料を吸い込みすぎて、エンジンが始動しにくくなります。

8. エンジンを起動後、暖気運転を行い、運転状況を確認します。



●エンジンの止め方

1. アクセルレバーを低速に合わせ、エンジンの回転をアイドル状態にします。
2. エンジンスイッチハンドルを「OFF」にします。
3. エンジンスイッチを「OFF」にします。
3. 燃料コックを締めます。

運転操作のしかた




警告




- ・身体の調子が悪いとき、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。
- ・夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。
- ・回転部分に顔や手足、髪の毛、衣服などを近づけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- ・使用中は、点火プラグキャップ部や高圧コードに触れないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。

運転操作のしかた

警告

-  ・回転している部分の近くに手又は足を入れしないでください。
- ・エンジン回転中は、高さ調節をしないでください。
- ・エンジンが熱いうちは、可燃物を近づけないでください。
- ・回転部分のカバーを外して運転しないでください。

-  ・使用前にブレードに損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・各部のネジに緩みが無いことを点検してください。
- ・始動前点検を実施してください。始動前点検で異常が見つかった場合は、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
- ・使用前に部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・すべりにくい靴、手袋、保護メガネ、保護帽、耳栓などの作業に適した服装を心掛けてください。
- ・使用者は、使用者自身や周囲の人、動物に対する危険事項を理解し、十分注意してください。
- ・運転中は、排気ガスに十分注意してください。
- ・ハンドルをしっかりと握り、正しい姿勢で作業してください。走るような操作はしないでください。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。
- ・使用中に異常音、異常振動があったときは、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
- ・異物に突き当たったり、巻きついた場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、製品が損傷していないかを調べてください。損傷があった場合には、完全に補修した後でなければ製品を再始動しないでください。
- ・危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。
- ・作業中に異物に当たったり、異物が巻きついた場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、製品に異常がないかを調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ製品を再始動しないでください。
- ・装置から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。
- ・製品を搬送する際、積み込み、積み下ろしは二人で行ってください。

運転操作のしかた

●操作方法

1. ハンドルを操作がしやすい高さに調整してください。調整は必ずエンジンを止めて行ってください。
2. エンジンを始動します。
3. クラッチを繋ぐために、ゆっくりアクセルレバーを開き、エンジンの回転を上げます。
4. ブレードが時計方向(右回り)に回転を始めます。
5. 前進 ハンドルの右側を押し下げ、ハンドルの左側を持ち上げます。
6. 後進 ハンドルの左側を押し下げ、ハンドルの右側を持ち上げます。
7. 右 ハンドルの左右両側を押し下げます。
8. 左 ハンドルの左右両側を持ち上げます。

●ピッチ調整

1. ピッチ調整ノブを時計回り(右回り)に回すと、ブレードと地面の角度が大きくなります。
2. ピッチ調整ノブを反時計回り(左回り)に回すと、ブレードと地面の角度が小さくなります。

●ハンドルの高さ調整

1. ハンドル調整ボルトを緩めます。
2. ハンドルを回転させ、操作者が無理なく握れる高さに調節します。
3. ハンドル調整ボルトを締めます。締める際、ボルトが回転しないように、ボルトをスパナで押さえながら、ナットをしっかり締めます。

●本体の移動 HG-WH-S100

1. メインパイプの下側にある、移動用パイプを取り外します。
2. 本体移動パイプブラケットに差し込みます。
3. 1人がメインパイプを1人が移動用パイプを持って、本体のバランスを見ながら2人で声を掛けあい持ち上げ、移動します。
4. 移動後、2人同時に静かに、地面に降ろします。
5. 移動用パイプをメインパイプに格納します。



運転操作のしかた

●運搬、輸送について

本機を運搬するときは、次のことに注意してください。

警告



- ・運搬時は必ずエンジンを停止してください。
- ・重量物の運搬は、2人以上で行ってください。
- ・運搬する場合は、燃料もれによる火災を防止するため、燃料タンク、キャブレタからガソリンを抜き取ってください。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。

注意



- ・運搬中に本体が動かないように、ロープなどでしっかり固定してください。
- ・本体を水平になるように保持してください。

点検整備のしかた

お買い求めいただきました製品を安全にご使用いただくために、定期的に点検を実施してください。

点 検 項 目	実施時期
燃 料 の 点 検	作業前
エンジンオイルの点検	作業前
変速ギヤオイルの点検	作業前
エアクリーナーの点検	作業前
エンジンオイルの交換	初回20時間 以降100時間毎
点火プラグの点検・清掃	点検50時間 交換250時間毎
各部のネジの緩み点検	作業前
燃料系の点検・メンテナンス	長期保存の前

ご自身で点検、修理ができない場合は、ハイガー産業までご相談ください。



警告

- ・安全を確保し作業を行って下さい。
- ・作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめて下さい。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願い致します。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。



注意

- ・作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行って下さい。
- ・メンテナンス終了後は汚れが付着しない場所かカバーなどをかぶせて保管ください。

点検整備のしかた

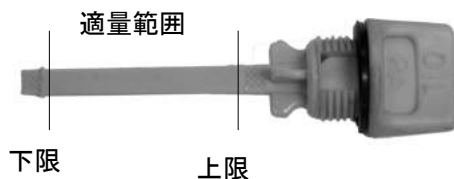
●エンジンオイルの交換

エンジンオイルの交換を行います。

■交換の仕方

- 1.製品を水平な場所で水平な状態にします。
- 2.オイル受けを用意してください。
- 3.オイルドレインボルトを反時計回りに回し、オイル受けにオイルを排出します。
- 4.オイルを排出後、オイルドレインボルトを確実に締めてください。
- 5.新しいエンジンオイルをオイルゲージのオイル量適量範囲位置まで入れます。
- 6.注入後、オイルゲージを締めます。

推奨オイル SAE 10W-30
オイル容量 0.6L



⚠ 注意

エンジンオイルの量は適切な値に保ってください。エンジンの故障の原因になります。上限を超えるとエンジンがかからなくなります。少ないと、エンジンの焼き付けを起こします。

点検整備のしかた

●エアクリーナーの清掃

エアクリーナーのフィルタを清掃します。

■清掃手順

- 1.エアクリーナーカバーの蝶ナット回してカバーを外します。
- 2.赤い取付けナットを取り外し、フィルタを外し、フィルタの内側から圧縮空気を吹きつけて汚れを落とします。
- 3.スポンジ部は、取り外し温水または中性洗剤で洗い、清水でよくすすぎ、完全に乾かしてから、取り付けてください。
- 4.汚れがひどい場合、破損がある場合は、新しいものに交換してください。
- 5.分解したときの逆の手順で組み立ててください。



点検整備のしかた

● 点火プラグの点検・清掃

点火プラグを外し、電極の点検・清掃を行います。

■ 点検のしかた

1. 使用工具

プラグレンチ、ワイヤブラシ

2. 点火プラグキャップを取り外します。

3. 点火プラグを取り外します。

4. 点火プラグをワイヤブラシで清掃します。

5. 隙間は0.7mm～0.8mmが適切です。

6. 絶縁部にひび、亀裂があるときは、新しい点火プラグに取り替えてください。



点検整備のしかた

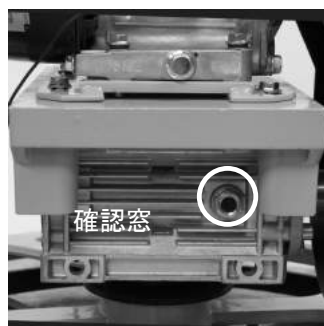
●変速ギヤオイルの点検 (HG-WH-SUB60)

変速ギヤオイルの量、よごれを確認します。使用時間500時間毎にギヤオイルを交換してください。古いオイルを受ける容器を用意してください。

■点検手順

- 1.製品を水平な場所に移動させます。
- 2.確認窓を外します。
- 3.ギヤオイルを排出します。
- 4.新しいオイルを給油します。
- 5.確認窓を締めます。

推奨オイル ギヤ用 SAE 140



点検整備のしかた

●燃料系の点検・メンテナンス

燃料タンクのカソリン、キャブレターのガソリンを抜きます。
ガソリンを受ける容器を用意してください。

■点検の仕方

1.使用工具

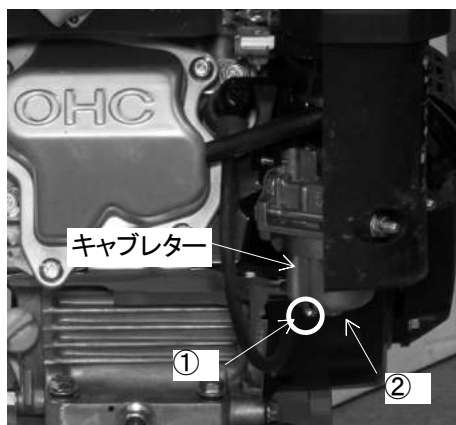
プラスドライバー、10mmスパナ

2.燃料タンクのカソップを外し、タンク内の燃料を抜きます。

3.キャブレターに斜めについているボルト(+の溝があります)①を緩めて、ガソリンを容器にうけます。この方法でキャブレターの燃料を抜くことができます。

キャブレターの下側に付いている②のボルトは絶対に緩めないで下さい。

4.緩めたボルトは、必ずしっかり締めて下さい。



長期間使用しないとき

長期間使用しないとき、次の手入れを行い、保管してください

- 1.燃料タンク、キャブレターの燃料を抜きます。
- 2.ブレードを清掃します。
- 3.各部ボルトの破損、腐食、緩みの点検をします。
- 4.防錆、給油を行います。



警告

- ・安全を確保し作業を行って下さい。
- ・作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめて下さい。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願い致します。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。



注意

- ・作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行って下さい
- ・メンテナンス終了後は汚れが付着しない場所かカバーなどをかぶせて保管ください。

故障と思ったら

●エンジンがかからない

点火プラグに火花が出ていない	①始動スイッチボタンの不良 ②スパーク・プラグ不良 ③スパーク・プラグ・キャップ接続不良 ④イグニッションコイルの不良	交換 交換 調整 交換
キャブレターに燃料が来ていない	①燃料がはいっていない ②燃料コックが閉じている ③燃料ホースの詰まり、漏れ ④燃料タンク錆びまたは、異物混入による詰まり	燃料を入れる コックを開く ホース清掃、交換 交換、フィルタ清掃
エンジン内に燃料が来ていない	①キャブレター詰まり(ニードル・バルブ膠着)	キャブレター分解掃除

●ブレード関連

エンジンは動くがブレードが遅い、動かない	①ベルトの破損、伸び	新品に交換
----------------------	------------	-------

お客様ご相談窓口

故障部品をお客様 で交換される場合

まず、ご購入された店舗にご連絡をしてください。

保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。

その際に生じる**往復の送料は全てお客様のご負担**となります。



お客様

①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。



④送料お客様ご負担で、代替部品を発送致します。

ハイガー産業または 販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認

故障部品をメーカー で修理する場合

ネット購入や弊社で電話・FAXにてご購入の場合は、弊社にご連絡をしてください。

保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。

その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。



お客様

①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。



⑤お見積り提示。

⑧送料お客様ご負担で、故障装置を発送いたします。

ハイガー産業

- ③受付
- ④故障内容の確認
- ⑥お見積り了承
- ⑦故障装置の修理

故障部品を販売・修理店 で修理する場合

まず、ご購入された販売・修理店にご連絡をしてください。

保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。

その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。

遠方の場合の出張修理や引取り修理は、**別途料金が発生**致します。



お客様

①故障の状況をお電話でご連絡ください。その際、持ち込み修理^{*1}か、引取り修理^{*2}か、出張修理^{*3}かを相談させていただきます。



⑤持ち込み修理の場合、修理完了後ご来店ください。引取り修理の場合は、修理完了後お届け致します。
※ご希望に応じて相談させていただきます。

販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認
- ④故障装置の修理

*1 お客様ご自身が販売・修理店に製品を持ち込むことをいいます。
*2 販売・修理店がお客様のご自宅まで製品を引き取りに行くことをいいます。
*3 販売・修理店がお客様のご自宅まで行き、その場で修理を行うことをいいます。

■保証適用について■

- ・本商品が対象となります。
- ※ただし、以下の場合は保証適用外となります。
- ・お客様のメンテナンス・確認不足等によるもの。
- ・人為的による破損等。
- ・運送会社など、第三者により生じた支障。
- ・弊社が故意・過失・他、正常のご使用に反して生じたと判断する全ての支障。

■保証期間について■

- ・商品が出荷された日・お渡し（ご来店時）から1年間となります。業務用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。

◎詳細は「保証内容について」ページをご確認ください。

■初期不良について■

- ・初期不良期間は、ご使用回数に関係なく到着日から1週間とさせていただきます。
- ・商品受領後、1週間以内にご連絡ください。
- ※無償修理又は無償交換のいずれかを弊社判断にて、ご対応させていただきます。
- ・修理協力店にご依頼の際は、修理工賃・部品代・送料は当社が負担させていただきます。

■消耗品について■

- ・消耗品につきましては、初期不良以外はすべて有償となります。

修理、部品に関するご相談

修理依頼される時は、下記を事項ご連絡ください。

- ①ご注文番号
- ②商品名
- ③商品の型番
- ④故障の状況
- ⑤購入サイト、年月日
- ⑥お名前
- ⑦ご住所
- ⑧電話番号

修理、使い方などのご連絡窓口

お手数ですが、今一度本取扱説明書を熟読し、弊社のサイトや動画等を見ていただき、問題が解決しない場合は、下記までお問い合わせください。

●お問い合わせ先
ホームページお問い合わせフォーム <http://www.haigeshop.net/contact>
ハイガー産業お問い合わせ [検索](#)

TEL:0276-55-2275 FAX:0276-55-2276

MEMO

販売・修理店

販売・修理店は随時増えています。

販売・修理店により修理対応機械が異なりますので、最新情報は下記サイトをご覧ください。

オフィシャルサイト ▶ <http://www.haige.jp/agency.html> [ハイガー修理](#) [検索](#)

本店サイト ▶ <http://www.haigeshop.net/new/2015-07-02-113023.html>

楽天サイト ▶ <http://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/after.html>

ヤフーサイト ▶ <https://shopping.geocities.jp/haige/after.html>

※ハイガー産業は、顧客満足度100%を目指し、日々製品(部品やカラーも含め)の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。
また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

ハイガー産業株式会社

〒370-0503 群馬県邑楽郡千代田町赤岩3072-3

[ハイガー](#) [検索](#) <http://www.haigeshop.net/>

本取扱説明書を熟読しても、弊社のサイトや動画等を見ても、問題が解決しない場合は、お手数ですが下記までお問い合わせください。その際、迅速なご対応ができるよう「お問い合わせ件名」を必ずお伝えください。
件名：「初期不良」「1年保証内故障」「1年保証外故障」「使用方法」「その他」

お問い合わせ ホームページお問い合わせフォーム:<http://www.haigeshop.net/contact>

[ハイガー産業お問い合わせ](#) [検索](#)

TEL. 0276-55-2275 FAX. 0276-55-2276

※スタッフ一同、迅速・丁寧な対応を心がけておりますが、季節商品等お問い合わせが集中する時期は、電話が繋がりにくくなったり、折り返し対応や折り返しのご連絡が遅くなる場合がございます。誠に恐れ入りますが、順次対応いたしますのでお待ちいただけますようお願い申し上げます。

お客様のご要件でなければ、ホームページお問い合わせフォームよりご連絡をいただけますと幸いです。

FAXは24時間受付しておりますが、営業時間外や弊社休業日にいただいたお問い合わせに限りましては、翌営業日以降に順次対応させていただきます。ご了承ください。

©営業時間：10:00～17:00(第1・3・5土曜日は12:00まで) ©定休日：日曜、祝日、第2・4土曜日

